

別表第4（第4条関係）

## 実技救命講習

1 到達目標	1 心肺蘇生法を救急車が現場到着するのに要する時間程度でできる。 2 自動体外式除細動器（AED）について理解し、正しく使用できる。 3 異物除去法及び大出血時の止血法を理解できる。
2 標準的な実施要領	1 講習については、実習を主体とする。 2 1クラスの受講者数の標準は、30名程度とする。 3 訓練用資機材一式に対して、受講者は5名以内とすることが望ましい。 4 指導者1名に対して受講者は10名以内とすることが望ましい。

項 目		細 目	時 間 (分)
応急手当の重要性		応急手当の目的、必要性（心停止の予防等を含む）等	5
救命に必要な 応急手当	心肺蘇生法	反応の確認、通報	115
		基本的心肺蘇生法（実技）	
		胸骨圧迫要領	
		気道確保要領	
		口対口人工呼吸要領	
		シナリオに対応した心肺蘇生法	
	AEDの使用法	AEDの実技要領	
	異物除去法	異物除去要領	
効果確認	心肺蘇生法の効果確認		
止血法	直接圧迫止血法		
合計時間			120